

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成25年2月28日(2013.2.28)

【公表番号】特表2012-517864(P2012-517864A)

【公表日】平成24年8月9日(2012.8.9)

【年通号数】公開・登録公報2012-031

【出願番号】特願2011-550304(P2011-550304)

【国際特許分類】

A 61 B 18/12 (2006.01)

【F I】

A 61 B 17/39 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成25年1月10日(2013.1.10)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

組織凝固装置と共に用いる流体供給装置であって、該流体供給装置は、複数の流体流量で流体を供給するように構成されるポンプ(308)と、該ポンプに動作可能に接続されているコントローラ(312)であって、該コントローラ(312)は、該組織凝固装置において測定された温度に関するデータを受信し、そして、該組織凝固装置において一定の設定温度を維持するように試みることなく、該測定された温度および該測定された温度の変化率の両方の所定の組み合せの関数として該ポンプからの該流体流量を選択的に、増加、減少および維持する、コントローラとを備えている、流体供給装置。

【請求項2】

前記コントローラ(312)は、基底流量設定を受信するように構成され、該コントローラは、一定の設定温度を維持するように試みることなく、前記組織凝固装置における温度および該組織凝固装置における温度の変化率の両方の所定の組み合せの関数として、基底流体流量からの1つ以上の単位増加または該基底流体流量からの1つ以上の単位減少によって前記ポンプ(308)からの流体流量を制御するように構成される、請求項1に記載の装置。

【請求項3】

前記コントローラ(312)は、入力された安全温度を受信するように構成され、前記単位増加の数は、前記測定された温度と該入力された安全温度との差に反比例する、請求項2に記載の装置。

【請求項4】

前記コントローラ(312)は、入力された安全温度を受信するように構成され、前記単位減少の数は、前記測定された温度と該入力された安全温度との差に比例する、請求項2に記載の装置。

【請求項5】

前記コントローラ(312)は、入力された安全温度を受信するように構成され、該コントローラは、該安全温度未満の好適な凝固温度を格納するように構成され、該コントローラは、前記測定された温度が所望の温度よりも高い場合には、該測定された温度の変化率の符号および大きさに依存して、前記ポンプからの流体流量を増加および

減少させるように構成され、

該コントローラは、前記測定された温度が所望の温度未満の場合には、該測定された温度の変化率の符号および大きさに依存して、前記ポンプからの流体流量を増加および減少させるように構成される、請求項 2 に記載の装置。

【請求項 6】

請求項 3 ~ 5 のいずれかに記載の装置と、

前記入力された安全温度に少なくとも等しい測定された温度に応答して、前記組織凝固装置に供給される電力を実質的に低減する電源（200）と
を備える、システム。